

教育センター

センター長 福島 統

センター長・室長・教授	福島 統	医学教育学（教育開発室）
兼任・室長・教授	木村 直史 (薬理学)	医学教育学（医学教育研究室）
専任・副室長・教授	伊坪真理子 (内科学(消化器・肝臓))	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	川村 哲也 (内科学(腎臓・高血圧))	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	尾上 尚志 (脳神経外科学)	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	古谷 伸之 (内科学(総合診療部))	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・講師	石橋 由朗 (外科学)	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	鷹橋 浩幸 (病理学)	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・副室長・教授	柏木 秀幸 (外科学)	医学教育学（教育開発室）
専任・准教授	中村真理子	医学教育学（教育開発室）
兼任・准教授	松島 雅人 (内科学(総合診療部))	医学教育学（教育開発室）
専任・講師	柵山 年和 (臨床腫瘍部)	医学教育学（教育開発室）
兼任・教授	大石 杉乃 (看護学科)	看護教育学（教育開発室）
兼任・室長・教授	宇都宮一典 (内科学(糖尿病・代謝・内分泌))	医学教育学（卒後教育支援室）
兼任・室長・准教授	平尾真智子 (看護学科)	看護教育学（看護教育研究室）

教育・研究概要

平成 11 年 4 月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、平成 14 年 4 月

には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。平成 17 年 10 月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室(木村直史室長)、看護教育研究室(平尾真智子室長)、卒後教育支援室(宇都宮一典室長)、教育開発室(福島 統室長)が置かれ、平成 18 年 4 月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が平成 19 年 4 月に教育センター長に就任し、平成 22 年 4 月に再任された。教育センターは、平成 22 年 4 月に C 棟 7 階に移動し、シミュレーション教育施設および e-Learning 施設の管理運営も行っている。

I. 平成 22 年度大学教育・学生支援推進事業(大学教育推進プログラム)「学生一人ひとりを育てる学習評価システム」

本年度公募された大学教育推進プログラムに本学の取組が採択された。文部科学省による審査結果は、「当該取り組みは、本事業の趣旨に照らして審査を行った結果、学士力の確保や教育力向上のための取組内容が非常に優れているとともに、達成目標の実現性も高く、成果と今後の展開が期待できると高く評価した。なお、審査結果に基づく詳細は以下のとおりである、[特に優れた点] これまでの GP を継承・発展させていること及びそれらの実績に基づく取り組みとなっていることから、学生の学習評価システムのコンピュータ化、ポートフォリオ作成・管理等は大変優れている。IPE を上手く取り込んだ教育システムを実施しており、それをベースに質的評価を取り入れている点、さらに評価で終わるのではなく評価に従って支援方策を考える点は先進性がある。[改善を要する点] ポートフォリオを上手く活用することによって、学生自身が気づいていない適性を見出す等の展開を図って欲しい。Peer review を慎重に活用したいとの配慮は大切だが、ポートフォリオの幅広い活用によって医療現場での協調的な活動を促進する意味でもさらなる展開が望まれる。[その他] 学生のポートフォリオの管理には十分な配慮が必要である。」本年度はこの補助金で医学科 5 年次の総合試験でコンピュータ試験のトライアル